

和地ひとみレポート No.183

2016年は色々新制度がスタート
市民センター、公民館の施設予約の抽選も自動に



■新たなことがスタートする年

…2016年がスタートしました。2016年が皆様にとって良い1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

…さて、今年は様々な新しい制度がスタートする年です。まず、昨年6月19日に公布された選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる改正公選法。施行日は公布から1年後と定められているので、今年の6月19日から適用されます。東大和市においては、施行日の後の最初の選挙は7月に行われる参議院選挙です。この選挙権年齢の引き下げについては課題も多くあると言われていたのですが、世界に目を向けると、191の国と地域のうち92%が18歳までに選挙権を与えているとことです(国立国会図書館調べ)。若者の声が政治に反映されるというメリットも言われているところですが、一方で、若者が権利を行使せず、投票率が下がるのではないかと懸念の声も聞かれます。

…7月に行われる参議院選挙は国政選挙ですので、新聞、テレビなどのマスコミを通じて、若者も様々な情報を得ることが出来ると思います。しかし、市長や市議会議員などの身近な選挙については、市議会報等で情報は出ても、情報がつかみにくいということもあると思います。これは、選挙権年齢が18歳に引き下げられること以前の課題だと思えます。

…新たに選挙権が与えられた若者だけでなく、選挙権を持つ人が立候補者の考え等を把握できるようにすることも、立候補者の務めだと改めて感じます。

■様々な証明書をコンビニで発行

…そして大きな変化といえば、マイナンバー制度のスタートです。昨年3月31日にマイナンバー制度(行政手続番号法)の施行期日が2015年10月5日と定められたことに伴い、昨年の11月ごろには各ご家庭に「ひとり一つずつ割り当てられた番号=マイナンバー」の通知が市役所から送られました。このマイナンバーの実際の利用開始日は2016年1月1日です。今後、様々な行政手続の場でマイナンバーが必要になってきます。また、ICチップ、顔写真付きのマイナンバーカードを作成した人は、2月22日から24時間365日、コンビニエンスストアの多機能端末機を利用することで住民票、印鑑証明などの各種証明書の交付を受けることが可能となります。市役所の開庁時間に役所行くのが困難だった人にとっては、便利なサービスだと思えます。

■東大和市のサービスとしては

…さらに東大和市では、2月3日から新たなサービスがスタートします。市民センター、公民館の施設利用についてインターネットで予約できるシステムは昨年の10月からスタートしていましたが、今年の2月3日からさらに施設利用申込の抽選も自動となります。

…そもそも、インターネット予約システムについては、インターネット環境にない高齢者には不便ではないかという声もありましたが、各施設にも専用の端末機が設置されているので、施設で職員の方に操作方法を聞きながら施設利用の抽選申込ができます。ただし、インターネット予約を利用する場合は、利用者登録が必要となりますので、ご注意ください。今までは、予約者が重複した場合などは調整会議に出席しなければなりませんでした。今後は自動抽選ということで、調整会議自体を開催しないとのこと。

…様々なことが新たにスタートする2016年。東大和市においても、時代にあった新たなサービスや取り組みを、様々な実現していった欲しいと思います。

【市民センター・公民館の施設予約システム概要】

- ①インターネット予約システム自動抽選日程
2月3日(水)開始。4月分の利用抽選申込がインターネットで可能になる。

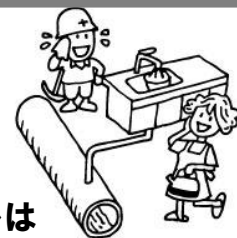
抽選申込期間	利用月2か月前の1日～14日
抽選日	利用月2か月前の15日
抽選結果確認及び予約日確定	利用月2か月前の15日～月末
申請書の確認と許可書の受領	利用日前までに

- ②インターネット予約の方法
パソコン、スマートフォン、携帯電話、各施設に設置する専用の端末等により、抽選申込が行える。

- ③対象となる施設
奈良橋市民センター・向原市民センター・清原市民センター・桜ヶ丘市民センター・新堀地区会館・中央公民館・南街公民館・狭山公民館・蔵敷公民館・上北台公民館

- ④利用者登録
施設の窓口で利用者登録申請書を提出。パスワードとメールアドレスの登録が必要。

下水道使用料の改定について 市長は『将来にツケを残さない』と表明



■下水道使用料の改定率は？

…以前のレポートでも取り上げたように、東大和市の下水道事業は赤字運営となっています。下水道事業は『地方公営企業』というもので、法人格を持たない企業と同じようなもの。独立採算制＝企業と同じように、サービスを提供することで得るお金で運営することが基本です。現在、東大和市の下水道事業については、市民の利用料金だけでは経費回収率は70%台で推移している状況です。(ちなみに多摩26市の経費回収率の平均は97.2%)

…昨年11月のレポートでこの件を取り上げた際は、東大和市下水道使用料審議会の答申に沿って、市は、『現状にあった料金体系にする＝排出量で区切った料金区分を8区分から9区分に増やす』『値上げ幅を20%～30%にする』という方向で検討したい意向のみを示しており、値上げ幅については確定していませんでした。

■懸念されること。

そして今後のスケジュールは

…東大和市の下水道の普及率は人口に対し100パーセントに概ね達していますが(平成15年度時点で99.9%)、計画面積に対する普及率は平成25年度末で97.4パーセント。また、平成25年度末までに整備した汚水管渠の総延長は約239キロメートルで、そのうちの約67キロメートルについては布設後30年を超えるものとなっています。

…今後は、下水道総合計画に基づき、面積普及率100パーセント達成を目指すと同時に、健全な水循環の維持に資するために、老朽化した汚水管渠の整備も必要となってきます。

…市の下水道総合計画では、長期計画期間(H33年度～52年度)における更新にかかる事業費を約134億円と見積もっています。さらに老朽化に伴う改築、更新は、新規工事よりも事業費がかかるとのこと。また、上記のとおり、人口に対し約100%を達成している下水道事業については、新たな使用料の拡大は見込めない(＝人口に対し、既に約100%普及しているため、新たに下水道を利用する人は増えない)ため、今後、財政状況はますます悪化すると市は予想しています。

…下水道は、無ければ不便さを痛感するものですが、汚水を流すことが『当たり前』になった現在、また、そのサービスが地中にある下水管を使用していることで目に見えないため、なかなか、ありがたみを感じることは難しくなっています。しかし、人口が減少する＝使用する人が減る、節水型の機器が発達する＝下水の量が減少＝使用料が減少ということは明らかです。一方で、老朽化した下水管を放置すれば、道路の陥没などで事故も起こりかねません。誰も値上げは嫌ですが、市はきちんと現状を市民が把握できるように説明し、絶対に事故や生活に不自由や支障が出るようなことのないように事業を進めるべきです。

…今月の下旬から市は、料金改定案について市民説明会を開催する予定です。そこでの意見などを受け、3月の市議会定例会で条例案を提出。可決された場合、市は5月下旬に新料金についての説明会を開催予定。そして、7月から新料金を適用する予定です。生活に欠かせない下水道の現状を把握するためにも、お時間がある方は、説明会にご参加ください。



…しかし、12月の市議会定例会終了後、市は全員協議会において平均改定率(＝値上げ率)を30%にする方針を打ち出しました。

その全員協議会では、主に値上げに反対する

意見や質問が多く出されました。その中で、ある議員から「東大和市の下水道使用料は、平成12年の改定以来、見直しが実施されていない。そのため、今回の大きな改定率となっているが、その理由は？」という主旨の質問がでました。これに対する答弁は市長自らが行い、「下水道使用料の改定については、大きく言ってしまうと、その時の市長の判断が大きい。改訂を長年しなかったというのは、その時の市長の考えだと思うが、私は、このような将来にツケを残すようなことはしないと判断をした。」とはっきりと自らの考えを表明しました。

…通常、質疑に対する具体的な施策の内容や改訂の内容については、担当職員が答弁することがほとんどですが、今回の質問に対しては、市長が長期的視野のもと、将来を見据えて決定したというご自身の考えを表明した形になりました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102